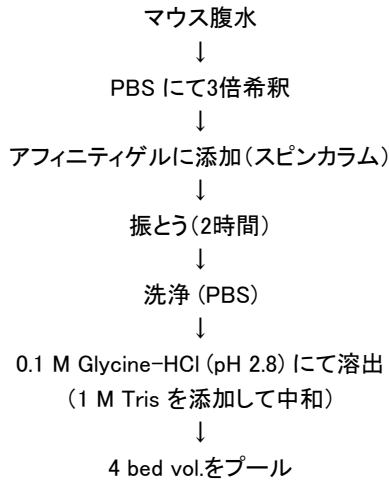
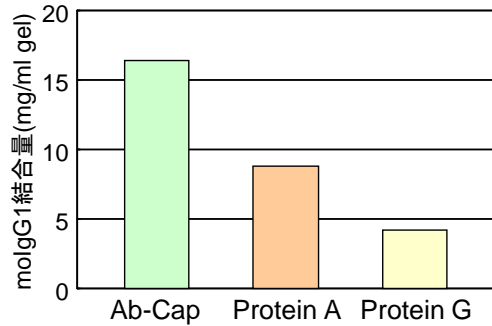


# Ab-Capcher™を用いた マウスモノクローナルIgG1の精製(2)

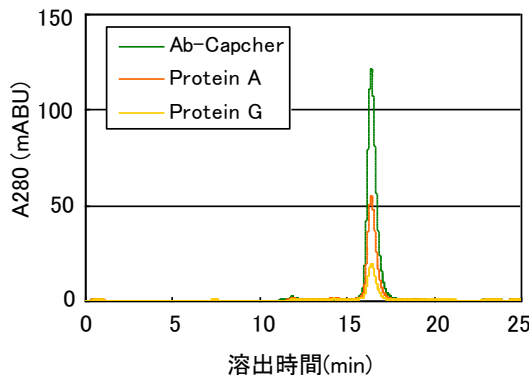
## 精製の流れ



## 各種アフィニティゲルのマウスIgG1結合量

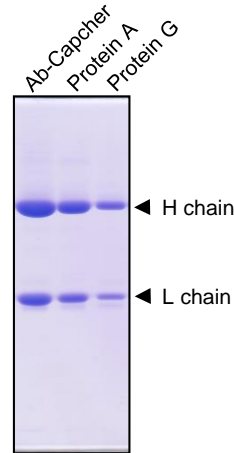


## 各種アフィニティゲルで精製したIgG1画分の分析



### ゲルろ過HPLC

サンプル: マウスIgG1溶出画分10  $\mu$ l  
 分析カラム: G3000SWXL  
 buffer: 35 mM Na-Pi, 0.5 M NaCl, pH 7.0  
 流速: 0.5 ml/min



### SDS-PAGE

サンプル: マウスIgG1溶出画分 2  $\mu$ l  
 ゲル: 12.5% (Tris-Glycine)  
 染色: CBB

マウス腹水をPBSで希釈し、3種類のアフィニティゲル担体にそれぞれ直接に添加し結合させた。Ab-Capcherは腹水中のマウスIgG1に対して、市販プロテインAゲルの約2倍、プロテインGゲルの約4倍の結合量を示した。溶出画分中のIgG1の純度は、プロテインAゲル 95.9%、プロテインGゲル 93.4%に対して、Ab-Capcherは97.6%(ゲルろ過)と最も高い値を示した。

以上の結果より、Ab-Capcherはワンステップで腹水からより多くの高純度マウスIgG1を精製できることがわかった。

## プロテノバ株式会社

〒769-2604  
 香川県東かがわ市西村1488番地1  
 TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703  
 ホームページ <http://protenova.com>